

## 国民健康保険高齢受給者証をお持ちの人へ

# 一部負担金の割合が1割に据え置かれます

平成24年3月まで一部負担割合が1割に

保険制度の改正により、高齢受給者証をお持ちで一定以上の所得がある人（住民税課税所得が145万円以上の人）以外は、医療機関を受診した際の自己負担が2割に引き上げられる予定でしたが、この改正が凍結されたため、平成24年3月まで一部負担割合が1割に据え置かれる措置が継続されます。

これにより、高齢受給者証の一部負担割合の表示が変更になりますので、新たな高齢受給者証を3月末ごろに区長さんを通じてお届けします。なお、高齢受給者証は毎年8月に所得判定を行い、翌年7月までの割合を決定しますので一部負担金の割合の表示は左図のとおりとなります。

【問い合わせ】  
市民生活部国保年金課  
保険給付係  
☎0220(58)2166

国民健康保険高齢受給者証	
交付年月日	
記号	番号
世帯主	住所 氏名
対象受給者	氏名 生年月日
一部負担金の割合	2割(平成23年3月31日まで1割)
発効期日	
有効期限	

※現在の表示  
「2割(平成23年3月31日まで1割)」  
※平成23年4月1日以降の表示  
所得判定を行うために7月までは「2割(平成23年7月31日まで1割)」  
所得判定以降は「2割(平成24年3月31日まで1割)」と表示されます。

## 国民健康保険 高齢受給者証とは

75歳になると後期高齢者医療制度の対象となりますが、それまでの間、70歳以上75歳未満の国保加入者には国民健康保険証とは別に「国民健康保険高齢受給者証」が交付されます。

70歳以上の被保険者は、医療機関で受診の際、保険証とあわせて高齢受給者証を提示する必要があります。

保険証に高齢受給者証を添えて医療機関に提示すると、自己負担割合1割(一定以上の所得がある人は3割)で医療を受けることができます。

\*病院窓口の負担割合は高齢受給者証に表示しています。

高齢受給者証は、70歳の誕生月の翌月(ただし、1日生まれの人は誕生月)から利用することができます。



## 市スポーツ&入賞情報(敬称略)

平成22年度キャリア教育優良教育委員会・学校・企業・PTA団体等文部科学大臣表彰  
■開催日 1月14日(金)  
■会場 文部科学省 第2講堂

【文部科学大臣表彰】  
佐治中学校

第51回交通安全国民運動中央大会  
■開催日 1月18日(火)  
■会場 東京都 日比谷公会堂

【交通安全賞】  
緑十字銀賞 杉山克昭(追)

平成22年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰  
■開催日 1月26日(水)  
■会場 仙台市 KKRホテル仙台

【東北農政局長賞】  
農事組合法人 フォレストウインド津山

## 第6回市中学生ソフトテニス大会

■開催日 1月16日(日)  
■会場 登米総合体育館ほか

【男子の部】

- 第1位 及川
- 第2位 小野寺(南方中)
- 第3位 星・高山(新田中)
- 氏家・村上(佐沼中)
- 白鳥・佐藤(南方中)

【女子の部】

- 第1位 佐々木
- 第2位 菅原
- 第3位 小野寺(中田中)
- 佐藤・三浦(中田中)
- 高橋・吉野(東和中)

## ◇おわびと訂正

広報とめ2月1日号に誤りがありました。おわびして訂正いたします。  
・9ページ

「登米市奨学生を募集します」

◆共通事項【応募書類】

- (正) 平成22年中の
- (誤) 平成21年中の
- ・14ページ

「豊里でスマイルコンサート」

- (正) 豊里幼稚園で開催
- (誤) 豊里子育てサポートセンターで開催
- (正) これは豊里幼稚園と
- (誤) これは豊里保育園と

# 貴重な文化財を火災から守る

## 文化財防火デー防災訓練・文化財講座

昭和24年に世界最古の木造建築物である法隆寺の金堂壁画が火災によって消失したことを教訓に、文化財を火災・震災などの災害から守るため、定められた文化財防火デー(1月26日)にちなみ、1月29日、県指定有形文化財の山門などを有する豊里町の「月輪山香林寺」で防災訓練が実施されました。

訓練には地域自主防災組織、市消防団豊里支団、香林寺関係者ら約180人が参加し、万が一に備え初動対応訓練や防火訓練を実施しました。

訓練は、隣接する山林から出火し、強風によって本堂や山門へ延焼する恐れが生じたとの想定で進められ、参加者による携帯電話からの通報訓練や、住民による重要物の持



地域住民が協力しての迅速な放水訓練が実施されました

での初期消火訓練、消防団による250リットルをホースで中継し放水する火災防ぎ訓練などが実施され、参加した皆さんは各訓練に真剣に取り組んでいました。訓練終了後には、市文化財保護委員の西條忠幸さんを講師に招いての文化財講座が行われ、参加者は防災意識を高めるとともに貴重な文化財への関心を深めていきました。



バケツリレーでの初期消火訓練



文化財防火対策の重要性について学んだ文化財講座

# 登米市の米について知ろう

## 登米市の環境保全米づくり出前講座

市内の農家が講師となり環境保全米の魅力や農業の大切さなどを伝える出前講座が1月20日から2月4日まで、仙台市内の7つの小学校で開催されました。

この出前講座は、市が取り組む「登米産米販路拡大事業」の一環として開催されたもので、都市部の子どもたちにも農業に関心を持ってもらい、登米産のコメの消費拡大にもつなげていこうと仙台市教育委員会を通じて「出前」を募り開催されたものです。

講師は、みやぎ登米農協南方町水稲部会の役員が交代で務め、アイガモ農法や冬期湛水田など、農薬や化学肥料を極力使わない米作りの様子やメダカやカブトエビなど多様



米の作り方を分りやすく説明【青葉区 片平丁小学校】

な生き物の生息状況について説明がされました。

講座終了後には、環境保全米が1人に3合ずつ贈られ、児童は環境に優しい米について理解を深め、米作りにも関心を持った様子でした。



全員に環境保全米をプレゼント【泉区 桂小学校】